

まちなか大学トークセミナー FY2024 vol.4

ブランディング の理論家と 実践者、 松山に来る

Guests

2025/2/17(月)

18:00-20:00 参加費:無料、定員:30名

@サイボウズ松山オフィス

〒790-0002 松山市二番町3-7-12-3F

小林 哲

KOBAYASHI Tetsu

大阪公立大学大学院経営学研究科 教授

聞き手

山口 信夫

近藤 剛文

KONDO Takafumi

コンテックス株式会社 代表取締役

YAMAGUCHI Nobuo

愛媛大学地域共創研究センター/社会共創学部

「ブランディング」は、企業のマーケティング活動の一環として、昔も今も重視され続けています。企業がブランド価値を獲得することは、コモディティ化への対応を考えるうえでも避けて通ることのできない途といえます。また、近年、地域そのものに対するイメージの向上を考えていく文脈においても、「ブランディング」の手法は注目を集めており、今日、シティブロモーションを戦略課題に掲げる自治体の数は枚挙に暇がないほどになっています。こうしたいわば「地域ブランディング」とでもいえる取り組みは、地域そのものに対する住民、訪問者、潜在的移住者からのエンゲージメントの獲得に結びつき、うまくいけばそれを足がかりにした産業振興にもつながります。「ブランディング」は混迷を深める21世紀の日本社会にとって、大いに期待される「導きの糸」の1つといえるでしょう。

今回のまちなか大学では、上記のような問題意識から、ブランディングの理論家と実践者をゲストとして同時にお呼びし、普段考えていることとお聞きするとともに、企業のブランド価値と地域のブランド価値の相互に規定し合う関係性について、議論を深めたいと思います。ゲストとしてお呼びするのは、大阪公立大学大学院経営学研究科教授の小林哲さんと、コンテックス株式会社代表取締役の近藤剛文さんです。

小林さんは、日本における地域ブランド論の第一人者で、著書『地域ブランディングの論理』(有斐閣、2016年)においては、豊富な事例検討も駆使しつつ、企業ブランドと地域ブランドの相互規定の関係に関する論点を深めています。また、2021年度から2022年度にかけては、日本マーケティング学会において会長を務め、研究者と実務家の互恵的な関係を生み出す基盤の構築にも尽力しました。

近藤さんは、今治を代表するタオルメーカーの1つ、コンテックス株式会社において5代目の社長を務めています。同社は、先代社長時代より、オール今治で推進する「Imabari Towel」ブランドのプロデュースに尽力してきたことはもちろん、強固なブランド力を有する自社ブランド(Kontex)の育成にも、力を入れてきました。地域ブランドと企業ブランドの相互規定的な関係性の中で、ブランディングのためのたゆまぬ努力を積み重ねてきた近藤さんからの話題提供は、企業マーケティング関係者のみならず、自治体関係者にとっても示唆的なものになるはず。

問合せ先 愛媛大学地域共創研究センターまちなか大学担当 yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp (担当:山口)

参加を希望される方はタイトルに「まちなか大学vol.4参加希望」と明記したうえで、本文に①お名前(SNSネーム可)、②連絡先、③ご所属をご記入のうえ、

上記のアドレスまで電子メールでお申込みください(2/15締切)。取得した個人情報は適正に管理いたします。

また、ご不明な点についてのお問い合わせのみ、お電話でも受け付けています。Tel 089-927-8145(地域協働支援部地域協働課)

主催 愛媛大学地域共創研究センター

[facebookはこちら](#)

